

シモンは、使徒たちが手を置くと霊が与えられたのを見、金を差し出して、言った。「手を置けば、誰にでも聖霊が受けられるように、私にもその力を授けてください。」すると、ペトロは言った。「この金は、お前と共に滅びるがよい。神の賜物が金で手に入ると思っているからだ。お前はこれに関わることも、あずかることもできない。心が神の前に正しくないからだ。この悪事を悔い改め、主に祈れ。あるいは、心に抱いた思いを赦していただけるかもしれない。お前が苦い胆汁と不義の縄目の中にいるのが、私には見える。」シモンは答えた。「おっしゃったことが私の身に起こらないように、主に祈ってください。」（使徒8：18～24）

エルサレム教会は激しい迫害を受けるようになった。信者たちはユダヤやサマリアに散って行った。彼らは散って行った所を巡り歩き、御言葉を告げ知らせた。公平な食事の分配役に選ばれたフィリポはサマリアの町に下って、キリストの福音を宣べ伝えた。彼は汚れた霊に取りつかれた人たちから悪霊を出て行かせ、体の麻痺した人や足の不自由な人たちを癒やした。群衆はフィリポの行った数々の徴を見て、彼の話に耳を傾け、町の人々は大変喜んだ。フィリポが語る神の国とキリストの福音をサマリアの人々は信じ、男も女も洗礼を受けた。この町に、魔術を行って人を驚かせ、自分を偉い者のように言い触らすシモンという人がいた。町の人たちは、シモンの魔術に驚嘆し、この人こそ神の力を与えられた人だと注目していたが、シモンもフィリポの行う素晴らしい奇跡を見て、自分の魔術より、彼の奇跡の真実さを認めて驚き、彼を信じて洗礼を受け、彼に付いて行った。

エルサレム教会の使徒たちは、サマリアの人々が神の言葉を受け入れたと聞き、ペトロとヨハネを遣わした。二人は下って行き、聖霊を受けるように祈った。人々は主イエスの名によって洗礼を受けただけで、聖霊はまだ誰の上にも降っていなかった。ペトロとヨハネが手を置くと、聖霊が降った。これは、エルサレム教会（使徒たち）に承認されて、初めて、サマリアの教会が正当な教会になると、エルサレム教会の権威を示唆している。

シモンは、使徒たちの按手によって聖霊が与えられるのを見て、金を差し出して「手を置けば、誰にでも聖霊が受けられるように、私にもその力を授けてください」と言った。彼は、金で聖霊降下の業が得られるならば、自分の魔術に加え、更に金儲けができることを期待したのであろう。するとペトロは、「この金は、お前と共に滅びるがよい。神の賜物が金で手に入ると思っているからだ。お前はこれに関わることも、あずかることもできない。心が神の前に正しくないからだ」と、金で神の賜物は手に入れることはできない、神の前に不義を求めるお前は滅びると、激しく叱責した。更に「この悪事を悔い改め、主に祈れ。あるいは、心に抱いた思いを赦していただけるかもしれない。お前が苦い胆汁と不義の縄目の中にいるのが、私には見える」と、お前の心にある邪悪さが見える、悔い改めて神に祈れ、あるいは、赦していただけるかも知れないと続けた。ペトロの激しい叱責の言葉を聞いたシモンは、恐れおののき、「おっしゃったことが私の身に起こらないように、主に祈ってください」と答えた。シモンは使徒たちの祈りによって、赦されたであろう。

ペトロとヨハネは主イエスの言葉を力強く証しし、サマリアの多くの村で福音を告げ知らせ、エルサレムに帰って行った。迫害を受けてサマリアに逃亡し、そこで宣教をしたように、逃亡を機に、至る所で教会を立てていったのが初代教会の宣教のパターンであった。